

2016-2017 年度青少年交換 短期プログラム報告

〈オーストラリア派遣生〉

岩手県立岩谷堂高等学校 関原 美海 (岩谷堂 RC)

最初は興味本位で応募して面接をして、まさか自分が受かるなんて思ってなかったです。留学すると決まった時から英語の勉強を必死にして、笑顔を作る練習をして、あっという間に出発する日が来ました。

緊張と不安と楽しみでいっぱいだったのが、ホームステイの時間が近づくとつれ緊張だけになってきました。1人だし自分の英語力だけでやっていけるか心配でしたが何とかやりきることができました。ホストファミリーやホストファミリーを通して出会った方に色々なところに連れて行ってもらったり、たくさん話しかけていただいたりと感謝しています。

4日間のホームステイは最初長いかと思っていましたが、そんなことは最初だけで。実際ホームステイしてみると毎日が充実すぎてそんな思いは吹っ飛んでいきました(笑)。夜中近くにホストファザー、マザーの友達が家に来たり、そこでいきなりピアノを弾いて歌い始めたり、家の中でカラオケ、スタバ行きたいって言ったら夜の11時なのに連れてってくれたり、ホームステイ先がキリスト教だったので礼拝に行ったり。初めての経験がたくさんで戸惑ったこともありましたが、それ以上に楽しめました!

一番驚いたのは食事でした。日本は1日3食。ホームステイでは1日5食に加えて飲み物は炭酸。でも、どれも美味しくてついつい食べちゃいました。お出かけした時もお腹いっぱいなのに何食べる?って聞かれるのでずっとIm fullばかり(笑)。礼拝に行ったときまさかまさかの日本人に! その時はほんとにびっくりしました。奈良から留学に来ていて仲良くなってその子のホストファミリーとも仲良くなり。次の日には奈良の子のホストブラザーと天音(中澤)のホストシスター、私のホストブラザー、シスターと市内へお出かけに。その途中でみんなのホストファザー、マザーに会い。それを見て家族ぐるみでほんとに仲がいんだなとホッコリしました。

今回の留学はたくさん学べることがありました。その分、たくさんの方にも助けられ協力してもらったと思っています。両親や学校の先生、頑張ってくれた友達、そしてチームリーダーの高橋さん。ほんとに感謝してもきれません。みんなの支えとかがなかったら留学とかできないし、いい経験ができたなと思います。ホームステイ中は天音とずっと一緒に、天音がいたから出来たこともあったし、色々な場面で助けてもらいました。この留学で学んだことをこれから生かして将来にも役立てたらなと思います。

天音と20歳になったらオーストラリアに行く約束したので、それまでお金を貯めて英語をもっと勉強して、また大好きな大好きなみんなに会いに行きたいと思います(笑)短い間でしたがとても楽しくいい思い出ができました!ありがとうございました!

一関修紅高等学校 千葉 航汰 (一関 RC)

研修で、特に感じたのは、「百聞は一見に如かず」ということです。

飛行機の中でも、空港でも、オーストラリアでも、行くまでは思いもしなかったことが絶対にあるとわかりました。

人の生まれ、顔つきであったり、同じキリスト教でも、見たことのない行事の方法があったり、とにかく、ひとえにものを決めつけては、何もわからないということです。

これから、初めての場所に行くことはたくさんあり、違った文化の慣習に触れることがあると思うので、広い視野で、そういった物事を観れるようにこれからも普段からその場所や人のことを考えられる人になりたいと思っています。

宮城学院高等学校 中澤 天音 (仙台泉 RC)

3/16~3/22の7日間、オーストラリアにて市内観光、ホームステイなど様々な研修を経験してきました。

この研修に至るまで、11月の国際ロータリーの地区大会や1月の合宿や勉強会など、それは全て推薦から書類の添削、面接等、今回宮城学院にこのプログラムを持ちかけて下さった仙台泉ロータリークラブを始め、国際奉仕委員会に携わるロータリークラブの関係者の方々、又学校の友人や先生、家族。様々な形で携わった全ての方に感謝なくてはならないと思いました。

合宿、勉強会ではいつでもどんな時にも対応できる瞬時力が求められたり、決められた時間内に活動したりと、アドバイスから試験、厳しいお言葉など、沢山の刺激をいただき、また自分の力の無さを痛感する日々でした。先生方と自分なりに準備を進めても、いざとなるとできず、まだまだだと未熟さを感じ、この研修が上手くいか不安でした。

しかし、現地に行ったかと思ったらもう日本で、時間はあっという間でした。共に各ロータリークラブで推薦、試験を通し合格したメンバーと引率して下さったチームリーダーの高橋さん、またホームステイ先の家族、またその友人、他のホームステイの方など、現地の人とあたたかさ私をも包んでくれる包容力、寛容さ、魅力、新鮮さ。全てに恵まれていたからこそ、不安がなく楽しめました。

又、今回私はただ研修に行く”参加者”ではなく、”親善大使”という役目がありました。まだまだ足りない部分

もありますが、私なりの”親善大使”は、オーストラリアと日本の両国の普段の生活から風土、気候、土地や建造物、歴史や衣食等、共通した部分から違う部分を越えての魅力、何か良い!と思われるものを沢山の人の人を感じていただき、日本、オーストラリアのみならず興味など視野を広げていくと共に、自国への興味を深めていただくものと考えていました。

今後様々な形で発展していけるよう、勉強のみならず自国の興味を広げたいなと思いました。

〈オクラホマ派遣生〉

岩手県立北上翔南高等学校 川原 彩 (北上 RC)

今回の短期留学は初めての海外渡航だったので楽しみよりも不安な気持ちで出国日を迎えました。日本にいるときは本当にアメリカへ行くという実感がありませんでしたが、いざ飛行機を降りると広い土地に大きな空港、看板や標識は全て英語表記で私は本当にアメリカにいるんだと強く感じると共に自分の中でこのプログラムへのやる気スイッチがさらに入りました。

最初はホストファミリーや現地のロータリーと上手く会話ができて2週間過ごせるか不安に思ってしまうときもありましたが、オクラホマの方々はとても優しく、私の話を理解しようと相槌を打ちながら聞いてくれました。ホストファミリーの中には、私の住んでいる町や日本のことを事前に調べて質問してくださる方もいたので、日本の文化や町の特徴を教えることができました。「今度日本に行ったらあなたの家に泊まりたい」や「日本でお寿司を食べてみたい」など私の家族や日本の食文化に興味を持ってもらえて嬉しかったです。

滞在していた期間は、現地のロータリーの方々にも様々なところへ連れてっていただき多くのことを体験しました。博物館や美術館などの見学では、案内して下さる方の話を理解するのは難しかったですが、作品の説明を読んで少しでも理解できるように心がけました。ゴルフやアーチェリー、スカイダイビングは初めてでしたが係の人の話をよく聞いてみんなで楽しめました。特にスカイダイビングは日本では施設が少ないし、2分間という決められた時間だっ



たので、無駄な時間を過ごさないように思う存分楽しみました。NBAの試合観戦ではオクラホマサンダーのグッズを一式いただいて一番上の席から応援しました。試合開始時のお客さんの盛り上がり、会場の一体感は今でも忘れられません。

しかし全てが楽しいことばかりではありませんでした。米軍基地の近くで、実際に第二次世界大戦で使用された飛行機や原爆を積んで日本へ飛んでくる予定だった飛行機を見る機会があり、決して忘れてはいけないし伝えていかなければいけないと思いました。また、本物の銃も使用しました。日本では絶対に使用できないので楽しみな気持ちもありましたが、いざ銃を目の前にし使用方法の説明を受けると怖いという感情だけでなく、あたりにもすごい緊張感が走っているのを感じました。

最後になりますがお団長の菅原さん、副団長の佐々木さんはもちろん、事前研修でご指導していただいた方々、現地のロータリーの皆さん、家族や先生など本当に多くの方の支えに心から感謝しています。この2週間を無駄にせず学んだことを活かして将来につなげていきたいです。そして、このメンバーで行けたことを本当に嬉しく誇りに思います。ありがとうございました。

岩手県立花巻北高等学校 小田島碧海 (北上西 RC)

オクラホマでは各ロータリークラブを2日ずつ移動して、みなさんはアメリカと言われて何を思い浮かべるでしょうか。大きなファストフード、大きな家などいろいろあると思います。私は日本とは食事や生活も違うアメリカで3月15日から28日までの2週間、本当に貴重な体験をしてきました。

行く前は、成田空港では何回かしか会ったことのない人たちと、自信のない英語で日本語の全く通じない国へ行くことに不安を感じていましたが、これから体験するいろいろなことを想像してワクワクする気持ちの方が大きく、飛行機の中で11時間も過ごしたのに、一睡もできませんでした。

アメリカに着くと、当たり前ですが英語が飛び交い、本当に違う世界に来たようでした。オクラホマに着くと、ハグと笑顔で迎えていただき、これからの2週間の緊張は一気になくなりました。

オクラホマでは各ロータリークラブを2日ずつ移動して、それぞれのクラブで博物館や美術館、ショッピングに連れていていただいたり、スポーツを体験させていただいたり、バーベキューやディナーパーティーを開いていただきました。パーティーにはロータリーの方の家族や親戚もたくさん集まって、たくさんの方々で交流をすることができました。自分の英語がほとんど通じず、心が折れそうになりましたが、なんとか会話をしようとアメリカの方も頑張っ



くださった時は、本当に来てよかったなあと思いました。

私は全部で5つのファミリーにお世話になりました。どの家でも自分の部屋とバスルームがあって、アメリカのスケールの大きさに驚きました。NBA を見に連れていってくださったたり、一緒に買い物をしたり、お庭のプールのタイルを選ばせてもらったり、馬の蹄鉄をデコレーションしたり、夜の11時までテニスをしながらかモアを食べたり。全部がすごく楽しくてホストファミリーの皆さんには本当によくしていただきました。

特に最後のホストファミリーは忘れられません。私に家に連れて行っていただくと、お家の説明をしながら、ここはあなたが自由に使って良いし、水もタンクがあるから心配しないで使って良いよ。どこに行きたい？ 行きたいところはある？ 眠い時はすぐ寝て良いし、子供たちと遊びたかったら遊んで良いよ。と、私の意見やしたいことをすごく大切にしてくださって、本当に嬉しかったです。そのお家の子供たちとたくさん遊びましたが、3歳くらいの子に真剣な顔で質問をされた時、さらっと英語で答えられなかったのがすごくやしかった。その家族は最後ということもあって、すごく別れが辛かったです。いつかもっと英語をペラペラ話せるようになったら、必ず今回お世話になったホストファミリーに感謝を伝えに行きたいと思います。

この2週間で、たくさんの普段できないような体験をさせていただきましたが、その中で私が一番忘れられないのは、銃を撃ったことです。日本では特別な許可がない場合銃をもつことは禁止されていますが、アメリカでは5人に1人が銃を持っていると言われていて、一番驚いたのはアメリカの人々の考え方です。銃を撃つ際、説明を受けたのですがその内容が「銃は車と同じようなもので、使い方ひとつで危険にもなるが、間違えなければ危ないことはない」と言うものでした。いままで思いついたことのない考え方で、文化や価値観の違いをすごく感じました。

私は今回のアメリカ短期留学でアメリカの差別の歴史やアメリカの人々の温かさ、食事や生活のサイクルなど、たくさんのことを学び、体験することができました。これらは実際にアメリカに行かせていただいたからこそ、わかることだと思います。「百聞は一見にしかず」といいますが、本当にそのとおりだと思いました。今回、この素晴らしい体験

に参加させていただいたことを、オリエンテーションで英語をいちからおしえてくださり、めんどろな準備をしながらいつも笑顔で応援してくださいましたロータリークラブの皆様、引率してくださいました佐々木さん、菅原さん、一緒に行った友達、アメリカ行きを応援してくれた家族に、心から感謝しています。もっともっとたくさんの方を学んで吸収して、今回の留学で鍛えられたチャレンジ精神を大切に一日一日を過ごして行きたいと思っています。本当に、本当にありがとうございました。

岩手県立岩谷堂高等学校 菊池 康太 (岩谷堂 RC)

私の初海外はとても素晴らしいものとなった。ロータリークラブの交換留学プログラムで約2週間アメリカのオクラホマ州に滞在した。

出発前私は不安なことがあった。それは相手とコミュニケーションをとることが出来るかということだ。まず一緒に行くチーム内で男1人という状況下で、女性9人に対してコミュニケーションをとることが出来るのか、そして自分の英語力でやっていけるのかと、とても不安だった。しかしその反面、初海外に対する期待とわくわく感でいっぱいだった。

アメリカに到着後、最初にアメリカの広大な土地に驚嘆した。日本とはどこか違う魅了される美しさがあった。それを見た時、自分の世界観が広がっていくのを感じた。それと同時に自分の小さな不安が消えていった。

アメリカでの暮らしはとても有意義なものだった。5組のホストファミリーにお世話になり、どの家庭も温かく優しく受け入れてくれた。一緒にご飯を食べながら、お互いの住んでいる地域のことや趣味や好きな事などたくさん会話をした。また、自分が今何をしたいか、何をしてほしいかを英語で自分なりに伝えることが出来た。時には一緒に映画を見たり、ボーリングをしたり、バスケットやテレビゲームで遊んだり、自家用の露天風呂に入り楽しんだりした。ショッピングに行った際には、ホストマザーやホストファザーがTシャツ等をプレゼントしてくれ、お土産もたくさん頂き、とても嬉しかった。私が日本から持って行ったお土産も気に入って貰えて嬉しかった。



日中の団体行動では様々な貴重な体験を行い、スティルウォーターの警察署、バッファロー牧場等、オクラホマ州の有名な場所に行った。様々なミュージアムでは、インディアンの歴史を学んだ。銃の射撃体験や乗馬、ゴルフ、アーチェリー、インドアスカイダイビングなどの体験は初めてでとても楽しく心が躍った。特に素晴らしかったのはNBA オクラホマサンダーのバスケットボールの試合観戦だった。選手のプレーは勿論凄いが、観客の熱気やのりの良さ、一致団結しての応援の迫りに圧倒された。会場の演出やチアガールの息ぴったりのパフォーマンスも素晴らしかった。昼食には自分が行きたかったオクラホマ

の有名なハンバーガー店の「Eskimo Joeys」に行き巨大で豪華なハンバーガーを食べることが出来た。

これらの体験を通していくうちに自然とチームメイトとも打ち解けていくことが出来た。私の一番の思い出は、各自のホストファミリー達が集まって一緒にバーベキューをしたことだ。大草原の自然の景色を見ながら外で食べるお肉はとて美味しくて、自然の景色にも感動した。また、ロータリアンやチームメイトとの会話も弾み有意義な時間を過ごすことが出来とても楽しかった。

私はこの留学プログラムに参加して本当に良かったと思う。このロータリークラブの素晴らしい計画があってこそ、楽しい留学生活を送ることが出来たのだ。ロータリークラブの方々のおかげで、様々なことをトラブルなく安全に体験して学ぶことが出来たことに感謝している。そしてこのオクラホマチームのみんなと留学できたこと、巡り会えたことに感謝したい。